# 市町村と連携した３Ｒ普及啓発
## ～自治体担当者と地域に根ざした３Ｒリーダーの情報更新に向けて～

# 2021 年度報告書

2022 年３月

３Ｒ推進団体連絡会

NPO法人 持続可能な社会をつくる 元気ネット

【目　次】

Ⅰ　　実施概要

Ⅰ－１　これまでの背景とねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

Ⅰ－２　実施一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

Ⅰ－３　概要・名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

Ⅱ　　実施内容

Ⅱ－１　新規３Ｒ市民リーダー育成講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

Ⅱ－２　スキルアップ研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

Ⅱ－３　自治体担当者向け情報交換会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

Ⅱ－４　出張講座・イベント出展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

Ⅱ－５　情報提供・その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

Ⅲ　　考察

総括・次年度に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

■添付資料

資料１　自治体情報交換会　議事録

資料２　「ステカタ navi.」特別セミナー事後リリース

資料３　【監修者】・【著者】・【企画・編集事務局】一覧、目次（抜粋）

資料４　（一社）日本有機資源協会発行「バイオマスプラスチック」９章「トピックス」

# Ⅰ　実施概要

## １．これまでの背景とねらい

●2015 年に国連で採択されたＳＤＧｓ「持続可能な開発目標」では、循環型社会構築の重要性が目標 12「つくる責任　つかう責任／持続可能な生産と消費形態を確保する」の特に 12.2「2030 年までに、天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する」、12.5「2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」そして 12.8 では「人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識をもつようにする」と明確に示されている。

●近年、全世界的にクローズアップされている海洋プラスチックごみ、気候変動、脱炭素、廃棄物輸入規制強化等の課題に対し、国内でも様々な対応がとられている。

2018 年６月に閣議決定された第四次循環型社会形成推進基本計画では、経済的側面、社会的側面との統合を含めた「持続可能な社会づくりとの統合的取り組み」の重要性を謳い、具体的に我が国の目指すべき将来像として、「地域循環共生圏による地域活性化」や「ライフサイクル全体での資源循環の徹底」などをあげ、その担い手として各主体の役割と連携した取り組みへの期待を示し、特にＮＰＯ・ＮＧＯには「各主体による循環型社会形成に関する理解や活動を促進すると共に、連携協働のつなぎ手となることを期待する」としている。2019 年５月には、「プラスチック資源循環戦略」が示され、2021 年６月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（以下、「プラ新法」）が成立し、2022 年４月より施行となる。「プラ新法」においては、容リ法と同様に消費者の役割が示されており、循環型社会形成における消費者の意識変革と行動変容の重要性はますます増していると言える。

●当ＮＰＯでは、市民・事業者・行政の連携による取組が重要と考え、市民の３Ｒに関する普及啓発の担い手として「３Ｒ市民リーダー育成」を貴連絡会と連携して 2011 年から実施してきた。

●以下に、これまでの事業の経緯を簡略に示す。

2011～2012 年度は、市民参加で開発した「リサイクルの基本」冊子を有効に使用し、新

たな市民リーダーに容器包装の３Ｒと循環を学ぶ場を設定。市民目線の講座プログラム３種を開発、改良し、一般向け普及啓発実践の場も設けた。

2013 年度は、「３Ｒ市民リーダー」の実力向上のため「スキルアップ事業」を実施すると共に、出張講座を積極的に展開し、さまざまな地域で９回の３Ｒ講座を開催した。

2014 年度からは、すそ野の拡大をめざし、自治体のリサイクル担当部署や関連施設と連携。地域で普及啓発を率先して担う３Ｒ市民リーダーを育成してきた。2014 年度は相模原市と国分寺市、2015 年度は越谷市とさいたま市、2016 年度は千葉市と松戸市、2017 年度は荒川区、2018 年度は新宿区、2019 年度は町田市、2020 年度は柏市で育成講座を開催、各地で新規３Ｒ市民リーダーが誕生した。

2016 年度には、過年度育成の３Ｒリーダーのフォローアップや、貴連絡会による「容器包装の機能と最新３Ｒ情報」の提供を４回実施。初代先輩３Ｒリーダーたちによる新クイズ追加問題作成や表現の見直しも行った。

2017 年度は、新しく自治体の資源循環や清掃リサイクル等部署の担当者向けの情報提供・意見交換の会合を２回開催。また、これまでに育成講座を修了した３Ｒリーダーに、各地での出張講座や研修会への参加を呼びかけ、かなりの参加を得た。

2018 年度からは新たに、過年度育成のリーダーを対象に３Ｒリーダースキルアップ研修を実施し、情報の更新、講座実施のスキルアップ、リーダー間の交流をはかっている。

2019 年度には、これまでの出張講座やイベントで実施してきた「３Ｒクイズ de ビンゴ」の実施方法等を詳細に記載した「楽しく学ぶ容器包装の３Ｒクイズ　実施ガイドブック」を作成した。

2020～2021 年度はコロナ禍のため、様々なイベントが中止になるなど、従来の手法が通用しない中、オンライン、動画作成等に取り組み、新しい形の普及啓発に一定の成果があった。以下、詳細内容を報告する。

## ２．実施一覧

| 2021 年 | ３Ｒリーダー育成スキルアップ研修 | 自治体担当者向け情報交換会 | 出張講座・出展 | 情報提供・その他 |
|---|---|---|---|---|
| ４月 | | | | |
| ５月 | | | | |
| ６月 | 22(火)30(水)第１回３Ｒリーダースキルアップ研修オンライン | | | |
| ７月 | | 19(月)自治体担当者向け容器包装３Ｒ情報交換会 | | |
| ８月 | | | | |
| ９月 | | | | 16(木)特別セミナー「ごみの分別から考えるＳＤＧｓ『すてる責任』」にて３Ｒ市民リーダー育成事業を紹介 |
| 10 月 | | | 16(土)子どもとためす環境まつりＷＥＢ版公開(３月末まで)<br>17(日)新宿区３Ｒ推進月間パネル展<br>20(水)３Ｒ推進全国大会 | |
| 11 月 | | | | ２(火)ＮＨＫ「あさイチ」出演<br>13(土)（一財）日本消費者協会主催消費生活アドバイザー養成講座にて、容器包装の３Ｒについて情報提供<br>18(木)神奈川県環境学習リーダー養成講座(オンライン)にて、「環境問題の基礎知識」容器包装の３Ｒの情報提供と３Ｒ市民リーダー育成事業を紹介 |
| 12 月 | | | | |
| 2022 年<br>１月 | 17(月)市川市第１回３Ｒ市民リーダー育成講座<br>28(金)第２回３Ｒリーダースキルアップ研修ハイブリッド | | 15(土)東京都食育フェア ONLINE 公開(2/15 まで) | |
| ２月 | ４(金)市川市第２回<br>17(木)市川市第３回<br>→両日とも延期 | | | 18(金)埼玉県清掃行政研究協議会第４ブロック研修会<br>22(火)関東地区地域 ESD 活動推進拠点研修会<br>ＮＨＫ「ステラ」２/18 号と３/11 号に「あさイチ」出演の内容掲載 |
| ３月 | | | | (一社)日本有機資源協会発行書籍「バイオマスプラスチック」のトピックスに容器包装の機能等について執筆 |

## ３．概要・名簿

（１）事業内容の検討

2021 年３月　貴連絡会へ 2021 年度企画書提出

【事業概要】

①自治体と連携した３Ｒ普及啓発

・新規３Ｒ市民リーダーの育成

・過年度のフォローアップ（柏市・町田市）

②自治体担当者への最新情報の提供と普及啓発に関するニーズの把握

・これまでの連携自治体と首都圏近郊の自治体担当者向け情報交換会を開催

③貴連絡会のブース展示会場、および出張講座等で普及啓発を実施

・リアル会場での実施があれば参加（３Ｒ推進全国大会、他）

・３Ｒクイズの動画を活用し、オンラインイベントに出展

④過年度の３Ｒ市民リーダーのスキルアップ

・過年度の地域・３Ｒリーダーのフォローアップとしてスキルアップ研修を、オンラインを活用して実施

⑤普及啓発ノウハウガイドの活用

・スキルアップ研修、新規３Ｒ市民リーダー育成講座、自治体担当者向け情報交換会での配布等

⑥その他

・元気ネットに講演依頼があった会場での情報提供、普及啓発等

（２）新規３Ｒ市民リーダー育成講座実施概要・名簿

【市川市】

2021 年度の新規３Ｒリーダー育成講座は、市川市で１月より開始したが、第１回開催後に「まん延防止等重点措置」が適応されたため、２月に予定されていた第２回、第３回については延期となった。

●会合開催

2022 年

１月 17 日（月）第１回会合

２月　４日（金）第２回会合　→　延期

２月 17 日（木）第３回会合　→　延期

●実践発表

コロナ禍のため、未定。→2022 年度に実施予定。

●市川市３Ｒリーダー名簿

| | | | |
|---|---|---|---|
| 石村　美佐子 | 篠原　國幹 | 高橋　久代 | 近岡　庸子 |
| 長谷川　鉄臣 | 久野　綾子 | 藤屋　惠三 | 山崎　叔江 |

（３）スキルアップ研修

2021 年６月 22 日（火）・30（水）

第１回３Ｒリーダースキルアップ研修（オンライン）

2022 年１月 28 日（金）

第２回３Ｒリーダースキルアップ研修（ハイブリッド）

（４）自治体担当者向け容器包装の３Ｒと普及啓発に関する情報交換会（オンライン）

2021 年７月 19 日（月）情報交換会

（５）出張講座・イベント出展

例年は５～６件の出張講座があるが、今年度もコロナ禍のため多くが中止となる中、昨年に引き続きオンラインで開催された環境まつり他、以下の４イベントに出展した。

①10 月 16 日（土）　子どもとためす環境まつり WEB 版（中央区）３月末まで公開

②10 月 17 日（日）　新宿区３Ｒ推進月間パネル展

③10 月 20 日（水）　３Ｒ推進全国大会（和歌山）11/19 までアーカイブ配信

④１月 15 日（土）　東京都食育フェア　２/15 までアーカイブ配信

（６）３Ｒ市民リーダー名簿（過年度の育成講座修了者中、過去２年間に出張講座・研修会等に参加、活動実績のある方。）

●初年度メンバー

秋田　さかえ　杉並消費者グループ連絡会

秋葉　友紀子　ひとえの会（世田谷区消費生活課区民講師）

植木　恭子　段ボールコンポスト柏

衣川　信子　新宿環境リサイクル活動の会（ｴｺｷﾞｬﾗﾘｰ新宿もったいないチーム）

鈴木　栄美子　ひとえの会（世田谷区消費生活課区民講師）

●個別研修修了生

田中　雅子　ひとえの会（世田谷区消費生活課区民講師）

●越谷市

伊藤　ふさ江　岩佐　侃　黒田　美智子　小池　清

御所野　三代子　高田　陽子　高山　津　冨沢　二三子

●松戸市

齋藤　通子　山崎　恵

●荒川区

渋谷　友子

●新宿区

| | | | |
|---|---|---|---|
| 下山田　恵子 | 鱒沢　毅 | 吉田　貴子 | 新田　怜弥 |

●町田市

| | | | |
|---|---|---|---|
| 石田　恵美 | 岡納　京子 | 高橋　門樹 | 福井　由可利 |
| 村上　多津子 | 村松　利夫 | 安川　正純 | 吉崎　洋子 |

●柏市

| | | | |
|---|---|---|---|
| 阿部　壮太 | 新井　優子 | 加藤　栄子 | 金子　眞理子 |
| 後藤　典子 | 佐々木　睦子 | 高橋　雅子 | 平山　裕子 |

（７）情報提供、その他

2021 年

| | |
|---|---|
| ９月 16 日（木） | 特別セミナー「ごみの分別から考えるＳＤＧｓ『すてる責任』」にて３Ｒ市民リーダー育成事業を紹介 |
| 11 月２日(火) | ＮＨＫ「あさイチ」出演 |
| 11 月 13 日(土) | 一般財団法人日本消費者協会主催消費生活アドバイザー受験者向け講座にて、容器包装の３Ｒについて情報提供 |
| 11 月 18 日(木) | 神奈川県環境学習リーダー養成講座(オンライン)にて、「環境問題の基礎知識」容器包装の３Ｒの情報提供と３Ｒ市民リーダー育成事業を紹介 |

2022 年

| | |
|---|---|
| ２月 18 日（金） | 埼玉県清掃行政研究協議会第４ブロック研修会 |
| ２月 22 日（火） | 関東地区地域 ESD 活動推進拠点研修会 |
| ３月 | (一社)日本有機資源協会発行書籍「バイオマスプラスチック」のトピックスに容器包装の機能等について執筆 |

## Ⅱ．　実施内容

### １．新規３Ｒ市民リーダー育成講座

■経緯

今年度は、コロナ禍が落ち着いてきた 10 月より、関東圏の自治体に市民リーダー育成事業の紹介および新規作成の３Ｒクイズの動画を送信し、本育成事業の打診を開始した。11 月に入ってからは個別に電話での打診も行ったところ、２自治体から前向きな反応があり、最終的に千葉県市川市より、年度内に実施の回答をいただいた。

１月～２月に講座開催の予定で、１月 17 日に第１回を開催したが、その直後にまん延防止等重点措置適用となったため、第２回と第３回は延期となった。

■市川市３Ｒリーダー育成講座

第１回：１月 17 日（月）10：00～12：00

場所：市川市役所第２庁舎　４階会議室（市川市南八幡２-20-２）

講座概要：自己紹介、講座の主旨説明、元気ネットと容器包装の３Ｒについて講義、
クイズ・ゲーム実演、台本読み合わせ、感想

参加者：(敬称略)

［新規リーダー］石村 美佐子、篠原 國幹、高橋 久代、近岡 庸子、
長谷川 鉄臣、久野 綾子、藤屋 惠三、山崎 叔江

［市川市生活環境整備課］高橋 誉、中江 千恵子、鈴木 庸代、久味木 美沙
＊高橋様は欠席

［３Ｒリーダー］衣川 信子

［元気ネット］鬼沢 良子、足立 夏子、足立 枝里

【第１回の様子】

【新規リーダーの感想】

・３Ｒクイズ de ビンゴなど、楽しみながらいろいろ学べて面白かったです。ありがとうございました。
・ごみの問題と軽く感じておりましたが、大変重要な問題と強く感じました。これから勉強して３Ｒリーダーとして頑張りたいと思います。
・新しく情報が知れる良い機会になりました。実演ができたのも、分別ごみのその後もわかって良かったです。何に生まれ変わるかの部分がすごい！
・楽しかったです。久しぶりに大きい声を出してすっきりしました。次回までにおぼえられるかどうか不安ですが、次回も楽しみにしています。
・どうして分別しなくてはいけないか人に聞かれて説明できなかった。人に伝えることはむずかしいですが、最後の所まで説明できるようになりたい。
・ごみ削減が地球温暖化防止のためにも大切。ごみの分別をして燃やすごみを減らすこと、資源化することが大切である。もっと詳しく勉強したい。
・楽しく勉強になりました。行動する一歩になりました。自分の知識にもっと厚みを持ちたい。
・やったことがないことを今日はやった。何に変わるかわかって勉強になった。子ども対象にこれまでやってきたが、一般向けにもやっていきたい。
・ごみの分別、種類がわからなかった物がわかった。例えば保冷剤は燃やすごみ、リチウムイオン電池は燃やせないごみ。自分の住んでいる地域は、分別等に興味のうすい地域なので、じゅんかんパートナーひとりで大変だが、自分がわかっていないと伝えられないので、わかって良かった。

【先輩リーダー】

・皆さんの「楽しんで覚えよう！」というやる気を感じました。これからが楽しみです。私自身も、再度学びなおす機会を得て、ありがたいです。

【市川市生活環境整備課】

・分別方法について、クイズを使用して楽しく学ぶことができるのは良いと思いました。
・本日はありがとうございました。小学校の出前授業で〇×クイズをやっていましたが、クイズの出し方や回答方法など教えていただき、とても分かりやすかったです。
・本日は第１回会合ありがとうございました。何になるのかなゲームの内容については知らないこともあり勉強になりました。他のものも学ばせていただくのを楽しみにして持ちかえり、読ませていただきます。

●事務局より

受講者８名が全員そろってスタートを切ることができた。市川市の職員の方も３名出席されて、一緒に学ぶという体制が整っている。新規リーダーの皆さんは、じゅんかんパートナーなど、何らかの活動をしている方々で、反応が良く、感想にも表れているように「楽しみながら学ぶ」という姿勢が強く感じられた。

また、活動の場を持っていて、「伝える」ことの経験者が多いので、クイズ等ができるようになれば、すぐにも活躍が期待できる。

【第２回、第３回について】

当初、第２回は２/４、第３回は２/17 を予定していたが、オミクロン株の急拡大によって、第 1 回の直後にまん延防止等重点措置が適用の可能性が高くなり、市川市から 1/19 に延期の提案があり、承諾した。

状況を見て、なるべく早く第２回、第３回を開催したいと思っている。

## ２．スキルアップ研修

### ■経緯

年間２回開催した。第１回は元気ネットが講師となって３Ｒの基礎知識やクイズ実施の現場での注意点等を情報提供し、第２回は連絡会の皆さまから容器包装の最新情報の講義をいただき、質疑や意見交換を行った。

■第１回３Ｒ市民リーダースキルアップ研修

開催方式：オンライン（Zoom）

実施日程：2021 年６月 22 日（火）２回、30 日（水）２回（各回約 90 分）の計４回

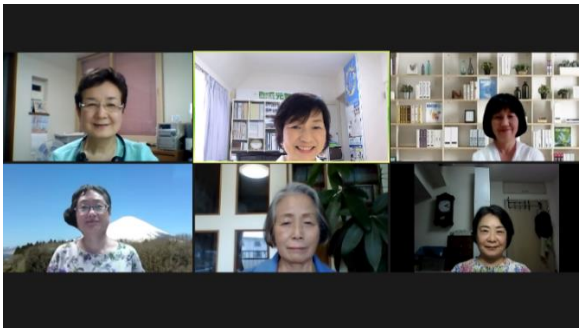
内容：容器包装の最新情報と課題（鬼沢）、３Ｒクイズ実施のポイント（足立夏）

参加者：市民リーダー（16 人）、元気ネット

| 実施日時（2021 年） | 参加者（講師：鬼沢） |
|---|---|
| ６月 22 日（火）10：30～12：00 | 小熊、仲井、高橋、堂、足立（夏）、足立（枝） |
| ６月 22 日（火）13：00～14：30 | 鱒沢、加藤、植木、阿部、足立（夏） |
| ６月 30 日（水）13：00～14：20 | 吉崎、渋谷、田中、足立（夏）、足立（枝） |
| ６月 30 日（水）14：30～16：50 | 冨沢、伊藤、高田、御所野、黒田、足立（夏） |

【６月 22 日のスクリーンショット】

【６月 30 日のスクリーンショット】



【参加者の感想】

・環境問題は非常に重要だと実感している。企業の取り組みなど、もっと知りたい。
・コロナ禍で区の活動がない中、このような研修はありがたい。
・刻々と進展する情報を入手できるので研修は受けるべきと思った。
・ＳＤＧｓを消費者も意識し行動に頑張らなくてはと思う。
・知っている方々と一緒なのでリラックスできて楽しかった。
・３Ｒクイズの注意すべきことの確認ができて良かった。
・コロナ禍で近所のパン屋さんで以前はカゴに盛ってあったパンが一つ一つポリ袋で包装されるようになった。プラスチックの利用やリサイクルについて勉強していきたい。
・長年地域の美化活動で中学生と一緒にポイ捨てされたものを拾っている。こういうことも海ごみ防止につながっていると思うので、がんばっていきたい。
・プラスチックの一括回収について、これまでとどう変わるのか、勉強していきたい。
・初めてのオンラインでみんなと一緒にできて良かった。

●事務局より

今回はオンライン方式で、元気ネットから容器包装の３Ｒの最新情報や課題、クイズ実施の留意点等について情報提供し、逐次質疑を行うという方式で実施した。各回ともスムーズに進行し、市民リーダーの皆さんもオンラインに慣れてきた様子がうかがえた。

新型コロナの影響で、リーダーの皆さんの活動の場がほとんどない状況だが、このような研修を実施することで、最新情報に触れることはもちろん、久しぶりに仲間の顔を見て会話を交わすことにより、来るべき活動に備えてモチベーションを維持する効果もあると思われる。年度後半には第２回を開催し、連絡会から容器包装の最新情報の提供をしていただく予定である。

■第２回３Ｒ市民リーダー向けスキルアップ研修

日時：2022 年 1 月 28 日（金）13：00～15：30
場所：乳業会館会議室（千代田区九段北 1-14-19）
開催方法：オンラインと実会場の併用
内容：連絡会より容器包装の３Ｒに関する最新情報等の提供（資料あり）、質疑
　　普及啓発について意見交換等

参加者：市民リーダー　会場１人、オンライン 22 人（計 23 人）
　　連絡会　会場３人、オンライン４人（計７人）
　　元気ネット　会場２人

【プログラム】

13：00　開始　司会：元気ネット　開催趣旨説明
　　連絡会幹事長ご挨拶、参加者紹介
13：10　容器包装の最新情報（ガラスびん、スチール缶、アルミ缶）各８分、質疑
13：45　容器包装の最新情報（ＰＥＴ，プラスチック）各８分、質疑
14：20　容器包装の最新情報（紙製容器、紙パック、段ボール）各８分、質疑
14：55　普及啓発、３Ｒクイズの動画等について質疑、意見交換
15：15　感想共有
15：25　まとめ、連絡会より３Ｒリーダーへの期待等
15：30　閉会：鬼沢

【会場の様子】

【スクリーンショット】

●事務局より

今回は、３Ｒ市民リーダー育成講座の修了生に加えて、これまで元気ネットとの関連で、様々な勉強会やセミナー等に熱心にご参加いただいている方々にもご案内させていただいた結果、参加者が増え、オンラインでも参加可能ということから関東圏以外からの参加もあり、最終的に市民リーダーの参加人数は 23 人と過去最高となった。

１月に入ってオミクロン株の急拡大があったので、会場参加希望者には改めて連絡し、オンライン参加への切り替えを打診し、会場参加のリーダーは 1 人のみとなり、会場人数も合計６人と少人数におさえることができた。

参加者の中には、不慣れながらオンラインに挑戦し、なんとか対応できるようになっている方もいることから、今後も、ハイブリッド方式での開催を行い、多くのリーダーさんに情報を伝え、モチベーションも維持していただくよう努めたいと思っている。

今回、連絡会にご用意いただいた資料について、参加者の感想に、「資料がとても良い」「わかりやすくなっている」というものが複数あった。年々、情報を「市民向け」という視点で精査し、的を絞った内容に工夫していただいていることに感謝いたします。

## ３．自治体担当者向け情報交換会

■経緯

今回は、過年度にご参加のなかった自治体を中心に、これまでより範囲を広げてご案内した。

連絡総数：281 件

内訳：東京都〈69〉、埼玉県〈60〉、千葉県〈51〉、神奈川県〈32〉
　　静岡県〈18〉、愛知県〈37〉、岐阜県〈2〉、三重県〈12〉

申し込み数は９自治体で、オンラインの利点を生かし、範囲を広げたことが、参加自治体数の増加につながったと思われる。

■自治体担当者向け容器包装の３Ｒに関する情報交換会

日時：2021 年７月 19 日（月）13：30～15：50

場所：乳業会館会議室（千代田区九段北 1-14-19）

開催方法：実会場とオンラインのハイブリッド方式

参加自治体：埼玉県さいたま市、東京都中央区・杉並区・新宿区、
　　千葉県市川市・白井市、愛知県新城市、三重県南勢志摩地域活性化局

内容：連絡会よりご挨拶、参加者自己紹介、
　　容器包装の３Ｒについて情報提供（連絡会）、
　　普及啓発について（元気ネット、新宿区）
　　質疑応答、意見交換、感想共有

【プログラム】

13：30　開会　司会：鬼沢（元気ネット）

１．３Ｒ推進団体連絡会幹事長ご挨拶

２．本日の趣旨、参加者紹介

３．容器包装の３Ｒについて各団体より情報提供、質疑
　①ガラスびん　②ＰＥＴボトル　③紙製容器包装　④プラスチック
　⑤スチール缶　⑥アルミ缶　　⑦飲料用紙容器　⑧段ボール

４．３Ｒ普及啓発について（元気ネット）
　自治体の取組事例紹介（新宿リサイクル活動センター）
　３Ｒクイズ動画紹介

５．質疑、意見交換、感想共有

15：50　閉会

【会場の様子】

【スクリーンショット】

●事務局より

当日になって急用で欠席の連絡があり、最終的に参加した自治体は８自治体となったが、オンライン開催ということで遠方からの参加もあった。内容的にも最新情報の提供に加えて、３Ｒクイズの動画放映や３Ｒ市民リーダー育成講座の事例も紹介したことで、幅広い質疑、意見交換を行うことができた。

＊詳細は、資料１情報交換会議事録を参照

## ４．出張講座・イベント出展

例年は５～６件の出張講座があるが、今年度もコロナ禍のため多くのイベントが中止となる中、昨年に引き続きオンラインで開催された環境まつり他、以下の４イベントに出展した。

①イベント名：「第 18 回 2021 年子どもとためす環境まつり WEB 版」（YouTube）

開催期間：2021 年 10 月 16 日（土）～2022 年３月末日

■動画の作成

子どもとためす環境まつりは、コロナ対策で昨年度からオンライン開催となり、それに対応して昨年は３Ｒクイズ（３問）の動画を作成して出展した。今年度もオンライン開催となったことから、新たに、八素材８問の動画を作成することにした。

動画のタイトル:「容器包装の３Ｒクイズ～メイちゃん･バルちゃんと一緒に挑戦！～」

スケジュール：７月上旬　パペット作成を依頼

７月下旬　シナリオ完成、パペット完成

８月 10 日～11 日　撮影、録音完了
８月中旬　動画編集を専門家に依頼
９月上旬　動画完成
「環境まつり」事務局へサムネイル、説明文一式提出

■出展
10 月 16 日　**「子どもとためす環境まつり WEB 版」**公開（YouTube, 2022 年３月末まで）

【ポスター・動画のスタート画面】

●事務局より
出展用の３Ｒ動画については、今年は八素材を取り上げ、一素材１問、計８問を二つに分け、４問ずつ４～５分の動画を２本作成した。今年は、より興味をもってもらいやすい形をめざし、パペット（犬のぬいぐるみ）を登場させ、また、字幕を活用してわかりやすさにも配慮した。今後、様々な機会に活用していきたい。

<u>②イベント名：新宿区３Ｒ推進月間パネル展</u>
開催日：2021 年 10 月 17 日（日）
開催場所：新宿駅西口イベント広場
主催：新宿区３Ｒ推進協議会
（事務局：新宿区ごみ減量リサイクル課内　ご担当：川村様）
来場者数：375 名（新宿区調べ）

【当日の会場の様子】

●事務局より

例年、新宿駅西口のイベント広場で多くの団体や企業が出展してにぎやかに開催されているが、コロナ禍で昨年は中止。今年度は、パネル展示となった。動画での参加もできるということで、今年度作成の３Ｒクイズの動画２本の展示を申請した。

今回、パネル展示の団体が多く、動画参加は少なかったようで、放映されていたのは、３Ｒ動画を含め４本程度で、ほぼ 15 分に１回程度の頻度で繰り返し放映されていた。

会場内にモニターと数客の椅子のある動画コーナーが設置されており、２名の方が（別々に）視聴している様子を見たが、２名ともすべての動画を最後までご覧になっていた。短めのものだと、やはり見ていただきやすいことを実感した。写真は午後２時ごろで人影もまばらだが、午前中に多くの方が来場されたそうで、来場者数は 375 名とのことである。

③イベント名：第 15 回３Ｒ推進全国大会 in 和歌山

日時：2021 年 10 月 20 日（水）＊当日配信及び 10/22 から 11/19 までアーカイブ配信

場所：ホテルアバローム紀の国

開催方法：実会場とオンラインのハイブリッド方式

【３Ｒ推進全国大会ポスターと団体紹介および動画紹介（鬼沢）】

●事務局より

オンライン開催となったことを受け、今年度作成の３Ｒクイズの動画２本（汎用版）を「３Ｒ推進展示コーナー」に出展した。元気ネット理事長鬼沢が団体紹介と動画紹介で出演し、３Ｒ動画について紹介した。

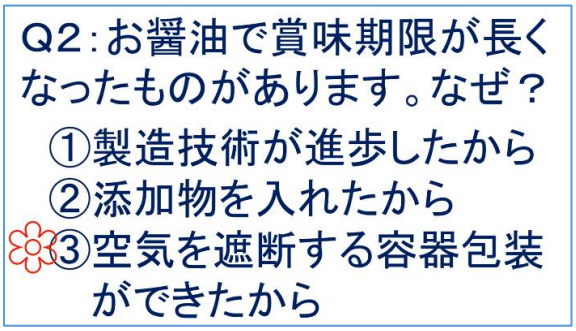
④イベント名：第 13 回東京都食育フェア

■経緯

東京都食育フェアが、今年度初めてオンライン開催となったとの情報を得て、出展を検討、容器包装関連の内容も盛り込めることから、出展を決定した。

開催期間：2022 年１月 15 日～２月 15 日
開催方法：オンライン
東京都食育フェアのＵＲＬ→https://shokuikufair.com/

【元気ネットのページ】




●事務局より

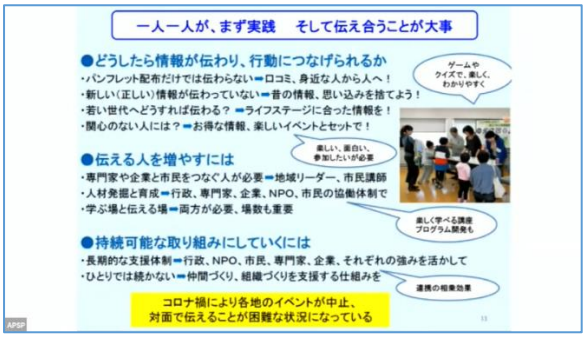
元気ネットのページの下に、ポイント１～３があり、ポイント２（容器包装の基本的な機能・役割）とポイント３（食品ロス削減の取り組み～消費期限・賞味期限の延長）さらにピックアップ動画のコーナーのクイズで、容器包装に関わる情報提供を行った。

## ５．情報提供・その他

①「ステカタ navi.」特別セミナー「ごみの分別から考えるＳＤＧｓ『すてる責任』」
日時：９月 16 日（木）13：00～14：45（オンライン開催）
主催：一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会

上記セミナーにて理事長の鬼沢良子が「分別は高品質資源循環の入り口」と題して、３Ｒ市民リーダーの事業等について紹介した。

【当日の様子】




＊詳細は資料２「ステカタ navi.」特別セミナー事後リリースを参照

②ＮＨＫ「あさイチ」に理事長の鬼沢良子が出演

日時：2021 年 11 月２日（火）８：15～

ＮＨＫの「あさイチ」の「資源ごみ　モヤモヤと負担を減らすぞ！ＳＰ」に出演し、正しい分別とリサイクル、資源循環がＳＤＧｓの目標 12 につながることの解説を行った。

【出演の様子】

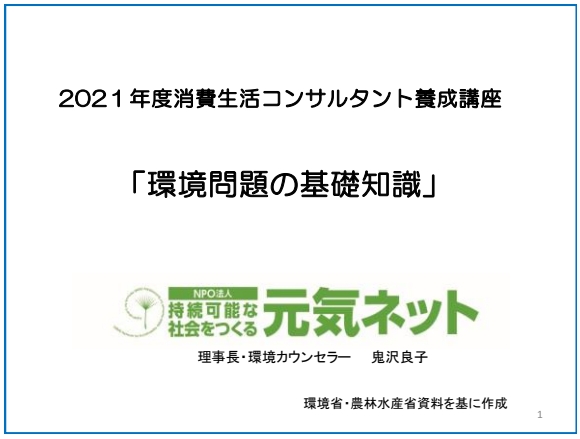
なお、ＮＨＫウイークリーステラ 2022 年２/18 号（２/９発売）および 2022 年３/11 号（３/２発売）「WEEKLY もっと！あさイチ」に当日の内容が掲載された。

③一般財団法人日本消費者協会主催消費生活アドバイザー養成講座

日時：2021 年 11 月 13 日（土）（ハイブリッド方式）

講師：鬼沢良子

上記講座にて、「環境問題の基礎知識」の一部で、容器包装の３Ｒについて解説した。



④神奈川県令和３年度環境学習リーダー養成講座
日時：2021 年 11 月 18 日（木）（オンライン開催）
講師：鬼沢良子

上記講座にて、「環境問題の基礎知識～SDG は　誰かの目標ではなく、私の、あなたの目標です～」の一部で、理事長の鬼沢良子が容器包装の３Ｒについて情報提供を行い、３Ｒ市民リーダー育成事業および動画を紹介し実施呼びかけを行った。
参加者は、約 60 人で多くの質問が寄せられた。

⑤埼玉県清掃行政研究協議会第４ブロック研修会
日時：２月 18 日（金）（オンライン開催）
講師：鬼沢良子

コロナ禍におけるごみ減量および市民向け情報提供のポイントを講義し、３Ｒ市民リーダー育成事業の紹介と実施呼びかけを行った。

⑥関東地区地域 ESD 活動推進拠点研修会
日時：２月 22 日（火）（オンライン開催）

上記研修会にて、理事長の鬼沢が元気ネットの活動報告を行い、容器包装の３Ｒ推進の取り組みを事業者・自治体と連携して、地域の情報発信の担い手となる人材育成事業について紹介した。

⑦(一社)日本有機資源協会発行書籍「バイオマスプラスチック」に執筆
理事長の鬼沢が９章の「トピックス」に、容器包装の機能等について執筆した。
＊詳細は資料３【監修者】・【著者】・【企画・編集事務局】一覧、目次）（抜粋）および資料４「バイオマスプラスチック」９章「トピックス」参照

## Ⅲ　　考察

**総括・次年度に向けて**

●2050 年にゼロカーボンを目指す日本において、あらゆる手段によって温室効果ガスの排出量を削減し、脱炭素社会へ移行することと、サーキュラーエコノミーおよびＳＤＧｓ の達成に向けて個人の行動変容が求められている。市民・事業者・行政の連携による取組がますます重要であることから、市民の３Ｒに関する普及啓発の担い手として「３Ｒ市民リーダー育成」を貴団体の皆さまと連携して実施してきた。

●昨年度から引き続き、コロナ禍の中、例年どおりの活動はできなかったが、動画作成やイベントのオンライン参加を始め、３Ｒリーダースキルアップ研修をオンラインにて２回開催した。オンライン開催だったことから、遠方からの参加者もあった。

　オンラインによる３Ｒリーダー研修では、ひとり一人の時間に細かく対応することで、本事業に対する熱意や知識量のリーダー間の格差解消をはかることができ、個人個人の自信にもつながることが期待できる。

　課題としては、若年層のリーダーが少ないことが挙げられる。今年度作成した動画を有効に活用して、若い世代への情報提供を模索していきたい。

　また、柏市のフォローアップと市川市の３Ｒ市民リーダー育成講座修了を予定している。

●自治体担当者との情報交換会では、オンライン開催のため、首都圏近隣と遠方の自治体にも参加を呼びかけ、容器包装の機能・役割や環境配慮、素材別の３Ｒの基礎知識、情報提供、意見交換を実施した。こちらも参加自治体が多く、次年度は同じように範囲を広げて自治体向け情報交換会を実施したいと考えている。

●元気ネットに「容器包装の３Ｒ」「食品ロス」「廃棄物・資源循環」「環境問題の基礎知識」等のテーマで、講演依頼やクイズ実施の要請があった際の情報提供については、主に理事長の鬼沢の講演の中で、食品ロス削減と容器包装の機能や役割等および自治体と連携した

人材育成の話を盛り込むなど、数回にわたって情報提供を行った。今後もあらゆる機会において柔軟に対応し、情報発信をしていきたい。

●市民自らが３Ｒの普及啓発の担い手として広く社会への発信を行っていく役割の重要性は高く、現在、このような人材育成が求められている。ＳＤＧｓの目標達成に向けて、「全てのＳＤＧｓが教育に期待」している。特に、ＥＳＤは持続可能な社会の担い手づくりを通じて、17 全ての目標の達成に貢献するものとも言われている。３Ｒ市民リーダーは、まさしく地域における情報発信・伝達の担い手である。

一方で、世代間のギャップは大きく、地域からの情報が届いていない世代へ向けて、新たな手法の検討も必要である。若者や子育て世代はＳＮＳによる情報入手が一般的になっており、情報発信の多様化も見据えて、活動を展開する必要を感じている。

また、「伝える」と「伝わる」には、大きな違いがあり３Ｒ市民リーダーの方々が「伝わる」情報発信をしていくためには、対応力を身に着け個人のスキルを上げていくことが求められる。この２年間実践の場の機会が少なかったことから、不安を感じているリーダーがいることもあり、スキルアップ研修に力を入れて今後に向けて準備していきたい。

この２年間、新しい試みを模索した結果、そこから見えてきたことも多い。今後に活かしていきたい。

以上

NPO法人 持続可能な社会をつくる 元気ネット

理事長：鬼沢良子
担　当：足立夏子
〒157-0062　東京都世田谷区南烏山 6-33-7-506
ＴＥＬ：03-6300-5157
ＦＡＸ：03-6300-5158
Ｅ-ｍａｉｌ： info@genki-net.jp

資料2

一般社団法人
ソーシャルプロダクツ普及推進協会
Association for the Promotion of Social Products

報道関係者各位

2021 年 9 月 24 日

# ごみ分別から考える『つくる責任、つかう責任＋捨てる責任』
## 全国 1700 自治体のごみ分別ナビゲーション「ステカタ navi.」特別セミナー開催報告

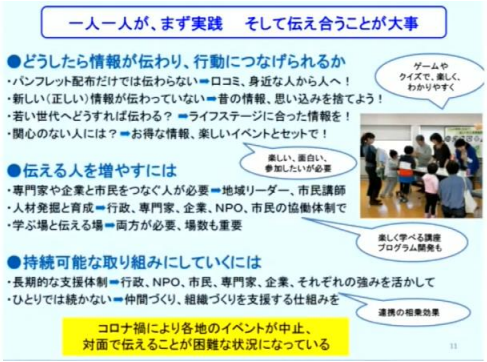
一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会（所在地：東京都中央区、会長：江口泰広）は、2021 年 9 月 16 日（木）にメーカー関係者・報道関係者を対象に、特別セミナー【ごみの分別から考える SDGs「すてる責任」～ごみ分別ナビゲーション「ステカタ navi.」が実現するミライとは？～】をオンラインで開催いたしました。

本セミナーでは当協会が 2021 年 8 月にローンチした全国 1700 自治体のごみ分別ナビゲーション「ステカタ navi.」の提供意図・普及意義の説明に加え、循環型地域づくりにおけるごみ分別の現状や課題、使う側の「すてる責任」について専門家に最新情報をお話しいただき、また「ステカタ navi.」導入企業様の事例などを参考に、『すてる責任』について意見交換がなされました。本資料にてその一部をご報告いたします。

**【登壇者発言要旨】**

**1 部 「分別は高品質資源循環の入り口」**

**特定非営利活動法人 持続可能な社会をつくる元気ネット（ＮＰＯ元気ネット）理事長　鬼沢良子様**




当団体は地域でのごみ分別・リサイクルの普及啓発活動と 3R 市民リーダー育成事業に取り組んでいます。その中で地域にごみ分別・リサイクルに関する新しい情報・正しい情報が伝わっていないと感じることが多くあります。ごみ分別・リサイクルに関心の高い方でも古い情報をお持ちだったり誤解があったりしますので、ごみ問題に関心のない方や若い世代への情報伝達方法については、ますます工夫しなければなりません。私たちの経験では、ごみ問題に関心のない方には、お得感がある・楽しいと思える仕掛けが有効です。また個々人が自分ごととして考えられるよう、年代やライフステージに合わせた情報発信も重要です。

ごみ分別・リサイクルに関する身近な話題に、海洋ごみ問題とカーボンニュートラル、それらの解決策の一つである使い捨てプラスチック削減があります。2020 年 7 月のレジ袋有料化実施により、2020 年 3 月に 30%程度だったレジ袋辞退率が 2020 年 11 月には 70%を超え、現在は約 80%と言われています。生活者の意識が高まり、行動が変わった成果と言えるでしょう。一方で「環境に配慮した“バイオマスプラスチック”はそのまま自然に還る」といった誤解もあるようです。正しくは熱を加えることで分解されるもので、生分解性ではありません。またごみ分別に関して最近懸念されているのがリチウムイオン電池です。夏に便利なハンディファンなど充電式の小型家電によく使われていますが、リチウムイオン電池は捨て方を間違うと発煙や発火の恐れがあり大変危険です。リチウムイオン電池などの充電式電池内蔵の品物は、専用リサイクルに出すと資源として再活用されます。

持続可能性実現のため、これからは企業・生活者双方の「捨てる責任」も重要です。そのために生活者の皆さんに、正しいごみの分別をすることで、よりよい資源として循環できることを知っていただきたいと思います。

＜本リリースに関するお問い合わせ＞
一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会　広報事務局（株式会社 one 内）担当：友野・大田
E-mail：press@one-inc.co.jp　TEL：070-3531-4283

資料3

# 【監修者】・【著者】・【企画・編集事務局】一覧

**監修者：**木村俊範（一般社団法人日本有機資源協会・副会長、北海道大学名誉教授）

**著者：**

柚山義人　第１章　一般社団法人日本有機資源協会
木村俊範　第３章、第９章、コラムＧ
　一般社団法人日本有機資源協会・副会長、北海道大学・名誉教授
大島一史　第２章、第４章、第10章(1)-(3)
杉山英路　第５章(1)、第10章(1)(4)、トピックス⑤　豊田通商株式会社
浜本哲郎　第５章(2)　アメリカ穀物協会
八木　正　第５章(3)、第６章(2)、第７章(4)、第８章(1)(2)
　日本バイオマス製品推進協議会・顧問
西村厳夫　第５章(4)、トピックス④　日本バイオマス製品推進協議会・副会長
古城　敦　第６章(1)　王子ホールディングス株式会社
酒井正裕　第６章(3)　一般社団法人日本有機資源協会
真鍋謙祐　第７章(1)　大倉工業株式会社
冨田裕子　第７章(2)　リスパック株式会社
坂口和久　第７章(3)　株式会社バイオマスレジンホールディングス
植田洋行・仲嶋　翼・小川　結　第８章(3)、第11章(5)、トピックス⑧、コラムＨ、Ｉ
　三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社
林亜有子　第11章(1)-(4)、トピックス⑥、⑪　環境省　環境再生・資源循環局
古木二郎　トピックス⑥、⑨　株式会社三菱総合研究所
牛木圭介　トピックス⑦　一般社団法人日本有機資源協会
鬼沢良子　トピックス⑩　NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット
嶋本浩治　トピックス⑫　一般社団法人日本有機資源協会
加藤俊明　コラムＡ、Ｃ、Ｆ、Ｊ、Ｋ　日本バイオマス製品推進協議会・幹事
大石美奈子　コラムＥ
　公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

**表紙・カバー下のデザイン：**中林まどか　イラストレーター・漫画家

**企画・編集事務局：**柚山義人、本多宏子、牛木圭介、嶋本浩治、菅原　良（一般社団法人日本有機資源協会）

## 第８章　バイオマスプラスチックはどんな環境配慮をしているか

（１）バイオマスプラスチックとSDGs・エシカル ……93
（２）バイオマスプラスチックにおける環境配慮
（リサイクル・食品包装）……95
（３）海洋プラスチックとマイクロプラスチック……96
コラムＨ　マイクロプラスチック……97
コラムＩ　発展途上国のプラスチック廃棄の現状……100
トピックス⑧　石油系プラスチックを
バイオマスプラスチックに置き換えると
どのくらいの$CO_2$削減につながるか ……101

## 第９章　バイオマスプラスチックのリサイクル方法と優先順位

（１）バイオマスプラスチックのリサイクル……103
（２）バイオマスプラスチックのリサイクル例……105
（３）リサイクルの評価例……107
１）評価例１：醤油製造における容器のリサイクル比較……108
２）評価例２：バイオマスプラスチック製容器の導入・回収・
リサイクル処理の実規模実験……111
（４）リサイクルの評価に関係する
バイオマスプラスチックの認証制度……115
１）加速器質量分析法（通称：C14法）による
バイオマス含有量の測定……116
２）生分解性プラスチックの認証……119
トピックス⑨　進化してきた容器包装の大転換期……123
コラムＪ　折り鶴レーヨン……124

資料４

## トピックス ⑨　進化してきた容器包装の大転換期

我が国には、容器包装、家電、食品、建設、自動車、小型家電という６つの個別リサイクル法があります。容器包装リサイクル法は1995年６月に制定され、1997年４月に本格施行された最初のリサイクル法です。この容器包装リサイクル法には、自治体・事業者・消費者の役割が決められていて、消費者は使用後に分別排出の役割があります。

商品を包んである容器包装は８素材に分類され、以下の識別マークがあります。容器包装は、中身を食べたり使ったりするとすぐにごみになってしまうので、家庭から排出されるごみ容積の約６割を占め、その内約５割がプラスチックです（環境省2020年度調査）。しかし、容器包装には次の大切な３つの機能・役割があります。①内容物の保護、②取扱いの利便性、③情報提供です。

| ガラスびん* | PET | 紙製 | プラスチック |
|---|---|---|---|
| ガラスびん | PET | 紙 | プラ |

＊ガラスびんにマークはついていません。

| スチール缶 | アルミ缶 | 紙パック | ダンボール |
|---|---|---|---|
| スチール | アルミ | 紙パック | ダンボール |

最近は、容器を小さく薄くして、資源の使用量を減らすリデュースが、素材毎に進んでいます。８素材の中の「ガラスびん」は唯一リユースができる容器です。リサイクルと再商品化は素材別に自主目標を定め、進んできましたが、それぞれに課題もあります。PETボトルのリサイクル率は、世界最高水準です。単一素材のためリサイクルが可能で、もう一度ボトルにするボトル to ボトルの割合が今後増えていきます。しかし、ポイ捨てによる海ごみ問題もあります。プラスチック容器包装は、内容物の保護のためバリア性を高めたフィルムの複合素材のものが多いため、再生資源にする材料リサイクルが難しい状況です。そのため最近は、水平リサイクルしやすい容器やプラスチックに替わる代替品の検討が進んでいます。

資源・廃棄物及び海洋ごみ問題、地球温暖化等の課題解決に向け、2020年７月からレジ袋の有料化が実施されてからの辞退率が、約80%近くに及ぶことは予想外のうれしい結果です。この時からよく目にするようになったのがバイオマスプラスチックのマークです。バイオマス素材が25%以上配合のレジ袋は有料化の対象外のため一気に利用が広がり、今後ますます増えていくでしょう。

持続可能な資源利用に向け、私たち消費者は、３Rの徹底とライフスタイルの変革が必要です。